



廣田先生の銅像の前で顕彰の神事が行われた



報 館

玄洋113号

平成24年9月1日

発 行

社団法人 玄洋社記念館

郵便番号 810-0062

福岡市中央区荒戸三丁目

6-36 西公園ハイツ201号

電話 (092) 762-2511

FAX (092) 762-2502

廣田弘毅先生顕彰祭

「愛国の至情学ぶべし」

記念館主催で最初の斎行

悲運の宰相、廣田弘毅先生の偉業を顕彰する「廣田弘毅先生顕彰祭」が五月十九日、福岡市中央区城内五（福岡市美術館入り口）の廣田弘毅先生銅像で行われた。社団法人玄洋社記念館の主催。約三十人が参列した。

福岡県護国神社の安岡究・権備宜によって祝詞奏上などの神事が進められた。

筑前琵琶保存会会主、青山旭子師が、北川晃二作詞「廣田弘毅」を献奏した。

挨拶に立った（社）玄洋社記念館の吉村剛太郎理事長は、まず、廣田先生が外交官であったことにちなんで「今、ちょうど天皇、皇后両陛下はエリザベス女王の即位六十周年記念行事に招かれて英国を公式訪問されている。今日の顕彰祭には、両陛下が無事に役目を終えて帰国なさるよう願う意味も込められている」と、この日の顕彰祭のよう

一つの意義を披露した。さうらに廣田先生の偉業に関し「いと訴えた。廣田弘毅先生顕彰祭は、命を捧げた廣田先生は、吉田茂を外務大臣にしようとしたが、自由主義的思想を保持しているとして軍部の反対に合った。廣田先生は、軍部と言葉では言い尽くせない闘いをされた。この愛

玄洋社憲則

- 第一条 皇室ヲ敬戴ス可シ
- 第二条 本國ヲ愛重ス可シ
- 第三条 人民ノ権利ヲ固守ス可シ

今号の主な内容

- ▽平尾霊園で「招魂祭」 2面
- ▽玄洋社の墓所「崇福寺」が山門内部を初公開 3面
- ▽賛助会員芳名録 4面
- ▽新聞広告に孫文の写真 5面
- ▽頭山翁と靖國神社の「國技」像 6面

市議会の「議員の会」が初参加

同日の顕彰祭には、福岡市議会に昨年十月、党派を超えた有志議員で設立された「玄洋社に政治を学ぶ議員の会」（会長、妹尾俊見議員）玄洋社記念館理事の会員八人も参列した。「明治・大正・昭和の世

「廣田弘毅先生顕彰祭」への、会として初の参加となった。吉村理事長は挨拶の中で「今日は政治を学ぶ会の先生方にもご出席いただき。日本の政治理念を学ぶという先生方に敬意を表します」と述べた。

祭典の継続 誓い新たに

「招魂祭」厳かに斎行

西郷隆盛との盟約を守り、西南の役に呼応して決起し、討伐の官軍を相手に壮烈に散華した旧福岡藩青年志士を慰霊する「明治十年福岡の変招魂祭」が、財団法人明道会（山崎拓理事）の主催で六月三日、福岡



厳かに斎行された「明治十年福岡の変招魂祭」

明治維新を目指して日本の近代化の礎になった武部小四郎、越知彦四郎ら討ち死に、自刃、刑死、獄死した百三柱の偉徳を偲んだ。

山崎理事長は「脈々と受け継がれる黒田藩勤王派の歴史の中で、明治十年の福岡の変は大きな意義を持っている。歴史的に重大な意義を持った青年志士の反政府、反骨の意識を、我々は次代に伝えていきたい」と挨拶した。

主催者事務局の波多江健一・明道館館長は「招魂祭参加者は高齢化しているが、理事長からは一人になっても続けるように指示されている。今後も、変わらず継続させていただく」と決意を述べた。

この日、参加者には「魂の碑」苑に関する資料が配布された。苑内には「魂の碑」のほか、千代の松原招魂碑、清水正次郎碑、香月恕経碑、舌間慎吾碑、松浦愚碑、箱田六輔碑などがある。「福岡の変」から百三十年の平成十九年六月三日に斎行された招魂祭では、記念事業として苑入り口に建立された福岡の変、魂の碑を解説する石碑の除幕式が行われた。

勤王の志士・平野國臣 遺徳偲び生誕祭



平野神社で行われた平野國臣の生誕祭

勤王・倒幕に奔走した志士、平野國臣の生誕祭が、三月三十一日福岡市中央区今川二丁目の「平野神社」で行われた。北海道はじめ全国から遺族、崇敬者など約六十人が出席した。（4面に関連記事）

社殿で山内勝二郎宮司により慰霊、顕彰の神事が行われ、詩吟が奉納された。開場を、近くの鳥飼八幡宮参集殿に移し直会（なおらい）が開かれた。

平野神社責任役員の吉村剛太郎氏（社団法人玄洋社記念館理事長）は「東日本大震災から一年が経過し

進藤喜平太の思い出・第2部

「追悼録」から

進藤喜平太翁追憶談 柴田 麟次郎（談
（前号より続く）

進藤先生は僕の無禮を気にもかけない風で、後から社に着かれると何かと出發の準備に心を配って下さるのであったが、今思っても此の時の無禮は冷汗三斗の思いである。

勿論、此の電報は安永から僕に義軍の構想をのべて上京を促す主旨のもので、同時に小野鴻之助、眞藤慎太郎を推薦したいという可成り長文のものであった。こうして安永は僕との約束を確實に果たした。

此の安永が中々剛直な男であったが、又小野も体格の逞ましい剛の者で、此の二人は太田大次郎と三人、福岡の三傑と稱せられる豪の者だった。後に小野は葛把載（かばさい）の激戦で左脚を失う程度の働らきをしたのだが、此の時は僕が安永の電報を見て大いに喜んで居るのに引きかえ、小野は安永に指図されるのが気に入らない風であったが僕が説得につとめた。

傍から進藤先生も「苟くも國家の大事に志すものが私情にこだわる様な事があってはならない」と諭されたので小野も柴田と一緒に言う。僕は「明日發とうと思うとよ」と言っ二人一緒に發つことにした。

其の夜は進藤先生を中心にして四、五人で鍋をついて酒をくみ別れを告げた。羽織一枚も持たぬ身軽な体だったが矢張り何かあわただしい感じがして居った。これが義軍の始まりの話である。

進藤翁の逸話

藤本 尚則（談
（この項おわり）

玄洋社先覚の墓所「崇福寺」

山門内部を初の一般公開

本格修復着手を前に

市民ら多数が拝観

旧黒田藩主黒田家の菩提寺であり、その墓苑に玄洋社諸先覚が眠る「玄洋社墓所」がある「崇福寺」(福岡市博多区千代四丁目、岩月海洞住職)の山門二階の内部が、四月一日から五月十日まで初めて一般に公開され、多くの市民らが拝観に訪れた。

山門は、もとは慶長年間(1600年代)に建設された黒田藩・福岡城本丸の表門。大正六年十一月に福岡城を管理していた陸軍の払い下げを受けて崇福寺に移築され、同七年四月に落成した。福岡県の有形文化財に指定されている。山門脇には「頭山満先生之墓所」の石碑が建っている。

高さ約十二メートル、幅約八メートルの木造瓦ぶき二階建て。公開された二階は佛殿として使用されており、木造の如意輪観音座像が安置されている。観音座像は万治元年(1818)の作とも伝えられている。

山門は、太平洋戦争の福岡大空襲でも戦火に遭うことはなかったが、天災による被害に遭った。

平成三年の台風十七号、十九号で多数の屋根瓦が落下。翌年、すべてをふき替えた。しかし、同十七年三月の福岡県西方沖地震では梁(はり)や柱の一部がずれ、しつこい壁が崩れたり浮き上がるなど、相当な被害があった。現在、梁や門柱は応急的に金具で補強されている。崇福寺は、本格的な修復を予定し、その前の一般公開となった。

公開期間中、佛殿には福岡城図面や黒田如水、長政父子の肖像や、築城当時の屋根瓦などが展示された。

急勾配の階段を上って入る佛殿は、予想外に広く感じられる。白壁にはめこまれた武者窓や、むき出しの太い柱が、いかにも城の造りを思わせる。拝観客は外観とは趣が異なる佛殿内部の様子や展示品を熱心に見学していた。



展示品を並べ、初めて公開された山門の佛殿

山門。修復工事では門前の景観整備も行われる



慰霊祭を毎年斎行

崇福寺墓苑の「玄洋社墓所」には、正面ほぼ中央に「先亡霊塔」がある。その背後の中央に「頭山満先覚之墓」、右側に「来嶋恒喜之墓」、左側に「高場先生之墓」が並んでいる。

「先亡霊塔」は、裏面に「殺身成仁 頭山満」と肉太の文字で力強く記されている。

崇福寺本堂では、毎年、十月五日の頭山満翁のご命日前後に、財団法人「明道会」が主催して「頭山満翁並びに玄洋社物故者慰霊祭」が厳粛に斎行される。

進藤翁が亡くなられた大正十五年の五月、當時の九州の新聞記事を私が保存致しておりますので、それに依って進藤翁の逸話を申し上げます。

翁は徹頭徹尾尾権主義で一貫した人でありました。かつて大原義剛氏が士官学校入学の希望を抱いてこれを翁に相談した時には「今更ら官軍に降服するののか」と手きびしく言われたのでありまして如何に藩閥政府を憎んで居られたかを知る事が出来るのであります。

玄洋社の或る豪傑が支那に行く際その屋敷に留別の宴を張った事がありました。豪傑にいさ、か酔狂の癖があったので盛んに客を手こずらせて居りました。此の時翁は黙って庭に下りるとそこら一面に散り出した落葉をかき集めて、それに火を着けられたのであります。なにしろ箆目のは入って居ない豪傑の庭で火は忽ち落葉に燃え移り皆が總立ちになって騒ぎ出したので、主人の今までの酔もすっかりさめて仕舞ってようやく火を消し止めたと言います事がありました。

酔狂をする様な奴はその家ぐるみ焼いて仕舞うぞと言つ一睨み、その豪傑はすっかり参つてそれから悪い癖が直つたと言つてあります。

頭山翁を山と例えれば、進藤翁は水の様な人でありました。作らず飾らず黙々として自分の所信に向つて進むと言つて人格でありました。明治十四年頃平尾山の開墾所で玄洋社の連中と一緒に晴耕雨讀の生活をされた時に論語の講義で

人知らずして温(ふぶく)まず 亦君子ならずやと言つ句があった時に一座の中島翔(かける)氏が

「まあこうして見渡した所、此の語にあてはまる人物と言えは進藤君の外あるまい」と言つと一階に居た頭山翁も手をうって

「貴公の言や好し」と大いに賛成された事がありました。

(この項続く)

賛助会員芳名録

平成24年度

7月18日受け付け分まで(敬称略)

法人・団体の部

三万円

警固神社 (福岡市)
九星飲料工業(株) (糸島市)
平野神社 (福岡市)
東海大学 (東京都)
福岡県護国神社 (福岡市)
財黒田奨学会 (同)
株正興電機製作所 (同)

宇美八幡宮 (宇美町)
株中村緑地建設 (福岡市)
新宮松比古事務所 (同)

三万円
安部 泰宏 (福岡市)
津田 隆士 (同)
原 寛 (同)
測上 高当 (同)
吉村剛太郎 (同)

二万円
妹尾 俊見 (福岡市)
浅野 秀夫 (同)
進藤 勇 (府中市)
稲員大三郎 (福岡市)
妹尾 俊見 (同)
川口 浩 (同)
光安 力 (同)

おばた久弥 (同)
南原 茂 (同)
森 英鷹 (同)
富永 計久 (同)
伊藤 嘉人 (同)
川上 晋平 (同)
打越 基安 (同)
阿部真之助 (同)
今林ひであき (同)
福田まもる (同)
飯盛 利康 (同)
北嶋雄二郎 (同)
大原弥寿男 (同)
大森 一馬 (同)
津田信太郎 (同)
川上 陽平 (同)
鬼塚 敏満 (同)
笠 康雄 (同)
国分 徳彦 (同)
水城 四郎 (同)
平畑 雅博 (同)
三角公仁隆 (同)
浜崎 太郎 (同)
寺島 浩幸 (同)
西川 芳泉 (同)
小河 直 (同)
山部 茂樹 (横浜市)
矢島 隆禪 (川越市)
妹尾 正為 (福岡市)

繩田 智行 (同)
近藤 正美 (同)
田北 利蔵 (同)
石川 修徳 (うるま市)
三木 年史 (徳島市)
木部 岳圭 (さいたま市)
草野 和子 (松戸市)
松野尾英彦 (北九州市)
酒井 智堂 (鹿児島市)
田中 久也 (福岡市)
小野 勇夫 (同)
大江田 信 (太宰府市)
木戸 龍一 (糸島市)
生武 治 (福岡市)
平野 正義 (同)
稲石 丈志 (同)
小野 稔 (宮若市)
村井 正隆 (久留米市)
的野 泰庸 (福岡市)
徳重 茂 (同)
興膳 克彦 (中間市)
長岡 聖司 (福岡市)
戸川 愛子 (同)
藤田 道子 (同)
浜地 金剛 (東京都)
中本 零時 (同)
坂牧 大陸 (福岡市)
濱地勝太郎 (下野市)
淵上 貫之 (東京都)
片山 悠 (東久留米市)
林 登 (福岡市)
池内 公子 (北海道遠軽町)
山内勝二郎 (福岡市)
坂上 英雄 (大阪市)
秋吉 謙一 (久留米市)

戸高 有基 (津久見市)
田口 純 (春日市)
小石原淳一 (福岡市)
大原 毅 (同)
池野 泰司 (同)
箱田 満輔 (小平市)
菊地 幸子 (福岡市)
渡邊 一馬 (別府市)
前田 大治 (福岡市)
大友 道生 (佐世保市)
稲員大三郎 (福岡市)
柴田 文雄 (同)
中山 幸一 (同)
末永 正彦 (東京都)
飯盛 利弘 (志免町)
平湯 芳裕 (名古屋市)
柴田 治子 (八王子市)
荒津 茂徳 (日進市)
土肥 国夫 (福岡市)
加藤 幸子 (古賀市)
高場 康幸 (同)
高井 善三 (糸島市)
武田 正 (福岡市)
室 潔 (東京都)
原 祐一 (福岡市)
小石原 昭 (東京都)
谷 十三 (福岡市)
坂上 知之 (奈良市)
速開 正澄 (福岡市)
有馬 學 (東京都)
魚谷 哲央 (東京都)
久恒 政雄 (福岡市)
西方 忍 (同)
加藤 芳子 (同)

三原 朝彦 (北九州市)
山内 敬一 (茅ヶ崎市)
二之湯 智 (京都市)
進藤 政子 (宗像市)
堺 憲一 (福岡市)
庵原 義一 (古賀市)
井上ヒロミ (福岡市)
藤川知佳子 (吹田市)
横田 進太 (福岡市)
頭山 興助 (東京都)
白土 宏 (福岡市)
隠岐 康 (市川市)
吉田 慧子 (福岡市)
古田 修吾 (東京都)
谷本 憲彦 (藤沢市)
山崎 拓 (福岡市)
緒方 基一 (八代市)
柴田 文彦 (福岡市)
白石 安子 (同)
大島 泰治 (大野城市)
武田 潔 (さいたま市)
西本 潤也 (福岡市)
青山 旭子 (同)
永島 英也 (同)
高瀬 篤 (宗像市)
長野 繁喜 (福岡市)
寺田 和彦 (熊本市)
梶原 昂 (福岡市)

お礼の言葉

玄洋社記念館賛助会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。この度、平成二十四年度の賛助会費納入をお願い致しましたところ、多くの方々にご協力を賜り、誠にありがとうございます。ご厚情に感謝申し上げます。景気回復の兆しも見えな

い中で、国政は政党間や党派内部の駆け引きばかりが盛んです。国民が明日に希望を持てる日が訪れるのはいつのことでしょうか。玄洋社記念館は今年度も、玄洋社と諸先覚の偉業の伝承に力を注ぎます。ご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。社団法人 玄洋社記念館

「中野正剛先生顕彰祭」を開催

◆日時 平成24年10月27日(土曜日) 午前11時開始
◆場所 鳥飼八幡宮境内「中野正剛先生銅像」前
(福岡市中央区今川2丁目1-17)
◆参加費 式典だけ参加の方は千円、直会(なおらい)にも参加の方は、ほかに3千円。
中野正剛先生顕彰会

國臣像周辺を整備

福岡市中央区西公園の平野國臣の銅像周辺環境整備が、福岡県によって進んでいる。光雲神社参道からの取り付け道路が赤土の地面から石畳に変わり、歩きやすくなった。参道からの入り口の木々が整理されて、銅像が目につきやすくなり、訪れる人も増えたと見られる。



新聞に掲載された孫文の肖像写真
入り広告 = 福岡日日新聞

新聞広告に肖像写真

孫文の来福

うかがえる人気ぶり

中国の国父と呼ばれる孫文は一九一一年(明治四十四年)、辛亥革命に成功し、中国近代化の幕を開いた。革命成功前に何度も来日し、頭山満翁の玄洋社をはじめ各界各層から支援を受けていた孫文の、日本での人気は革命成功でさらに高まった。

一九一三年(大正二年)、孫文は日本を訪れた。革命後に就任した中華民国臨時大統領の地位は、軍閥・袁世凱に譲り「鉄路総弁」の肩書だったが、かつての「亡命者」から一転、天下晴れ

東洋第一の
クラブ齒磨の
愛用者として
中華民国第一の英雄
孫文先生の如き
大人物を有するは
クラブ本店の最も
光榮とする所也

孫文が福岡市入りした十七日の地元紙「福岡日日新聞」(現、西日本新聞の前身)第六面に、孫文の肖像写真を掲げた「クラブ齒磨」の広告が掲載された。

全面的に「驪迎孫逸仙先生来博」。その下に孫文の大きな上半身の肖像写真。両脇に「中華民国創初の元勳孫逸仙先生最近の写真」「東洋平和の爲め先生の健康と自愛とを祈る」。写真には「中山太一君遺存」「孫文贈」の書きがあり、孫文が「中山太一」氏に贈った写真であることがわかる。

写真の下には、次のコマシーシャル・メッセージが記されている。「東洋一のクラブ齒磨の愛用者として、中華民国第一の英雄 孫文先生の如き、大人物を有するはクラブ本店の最も 光榮とする所也」

広告主は、大阪市に本社を置く化粧品メーカー、株式会社「クラブコスメチックス」の前身の「中山太陽堂」である。

為書きの中山太一氏(明治十四年~昭和三十一年)は、貴族院議員にも勅選された同社の創業者。山口県旧滝部村の人で、同県下関市の葉種問屋支店長を務めた後、二十一歳で独立。神戸市に洋品雑貨と化粧品卸の個人商店「中山太陽堂」を創業した。

「クラブ洗粉」「クラブ齒磨」などの商品を製造する一方で、広告・出版社を設立したり女性文芸誌、総合文芸誌を創刊している。また、創業二十周年に際しては「中山文化研究所」を設立するなど、文化事業にも強い関心を示している。

「クラブコスメチックス」の現社長、中山ユカリ氏は、

中山太一氏の孫。本宅には孫文の書があるという。孫文が為書き入りの写真を贈るほどだから、孫文と中山太一氏の親交が深かったこと、中山氏が孫文の革命運動を支援したであろうことは想像に難くない。広告のコマシーシャルメッセージからは、自社製品の宣伝を超えて、中山氏の孫文に対する敬愛の念さえ伝わってくる。

「クラブコスメチックス」社の文化資料室によると、福岡日日新聞に掲載されたのとはほぼ同様の広告が、孫文が日本に滞在中の大正二年二月と三月に大阪の朝日新聞、毎日新聞にも掲載されている。こちらは「驪迎孫逸仙先生来博」の「来博」が「来坂」「来遊」になっているという。

辛亥革命の成功には、多くの日本人が関わった。辛亥革命百年の昨年は、国内各地で記念事業が開催され、人々の目を日本と中国の近代史に引きつけた。

来年は、孫文の来福百年。再び中国と日本の、そして革命成功に力が大きかった玄洋社とそれに連なる人々、玄洋社の古里・福岡に目を向ける機会が訪れる。

HARADOI HOSPITAL

開放型病院・臨床研修指定病院

特定医療法人

原土井病院

理事長 原 寛

〒813-8588
福岡市東区青葉6丁目40番8号
☎092-691-3881(代)
http://www.haradoi-hospital.com/

株式会社 別府梢風園

代表取締役社長 別府 壽信

本社 〒812福岡市東区青葉一丁目六一五三
TEL 092-7169110(六七八代)
FAX 092-7169114(四五五四)
E-mail: info@shoufuen.co.jp

株式会社 玄南荘

代表取締役社長 測上 高当

本社 福岡市中央区荒戸二丁目二二四一
TEL 092-7156711
FAX 092-7156713
http://genanso.com/

AKIRA
Old Fresh Sea foods.

株式会社 アキラ水産

代表取締役社長 安部 泰宏

本社 福岡市中央区長浜3丁目11-3
電話 0217-116601(代表)

関連会社/株式会社コウトク水産

建設コンサルタント
建設事業の計画・調査・測量・設計・施工管理

ジーアンドエス・エンジニアリング株式会社

代表取締役社長 花田 和久
専務取締役 児玉 和久

本社 福岡市博多区東比恵三丁目二四一九
〒812-0007 電話 092-48113100
東京支社 東京都杉並区高円寺南一丁目三十一
〒166-0003 電話 03-537815800
千葉浦和 千葉県浦和・山崎・佐賀川・九州大分・長崎

福岡鮮魚市場のコア企業!! 21世紀の水産業界を領導するアキラループ

◇鮮魚卸業◇

靖國神社の「國技」像

台座の揮毫は頭山翁



台座に頭山翁「國技」の揮毫がある「國技」像

時代の流れ見つめ続ける

靖國神社（東京都千代田区九段北）の「相撲場」入り口に、がっぷり四つに組んだ力士の銅像「國技」像がある。台座正面に「國技 頭山翁」と浮き彫りにされている。頭山翁の揮毫によるものだ。現在の銅像は二代目で、初代は昭和十八年、戦時の金属供出で国に献納され、台座だけが残った。再建は昭和五十二年。再建の機運醸成の原動力になったのは、それまでの三十四年間、孤塁を守り続けた頭山翁揮毫の台座の存在だった。

「相撲場」は、参道を進む「國技」像は、入り口の左側で境内の右手奥、「靖國 建っている。会館」の左隣にある。「國 帝展推薦の相撲彫刻家長



相撲場の土俵。春の大祭の奉納相撲では見物客で埋め尽くされる

「國技・押シ」を原型に、銅像にしたものだった。三年文展入選作「國技・四ツ」を原型に、銅像にしたもの。明治の二天横綱、常陸山と梅ヶ谷の取り組みがモデルで、逆手なき相撲の極意「押し」の攻防を表現していた。同奨励会の銅像奉納趣意書によれば「是こそ能く我カ日本精神ノ眞髓ト処世上ノ教訓ヲ顕現セルモノ」だったという。同趣意書は、銅像建設の目的を、(この「國技・押シ」像の建設、献納によって)「廣ク天下萬人ノ鑑賞ニ資シ、之ヲ以テ国民精神ノ振作涵養ト、角道ノ奨励祝福ヲ永遠ナラシメントスル所

谷川義起（一八九二—一九七四）の代表作で、昭和十三年文展入選作「國技・四ツ」を原型に、銅像にしたもの。明治の二天横綱、常陸山と梅ヶ谷の取り組みがモデルで、逆手なき相撲の極意「押し」の攻防を表現していた。同奨励会の銅像奉納趣意書によれば「是こそ能く我カ日本精神ノ眞髓ト処世上ノ教訓ヲ顕現セルモノ」だったという。同趣意書は、銅像建設の目的を、(この「國技・押シ」像の建設、献納によって)「廣ク天下萬人ノ鑑賞ニ資シ、之ヲ以テ国民精神ノ振作涵養ト、角道ノ奨励祝福ヲ永遠ナラシメントスル所

神霊に対し恐懼の至り

以ナリ」と記している。原型作品と対面している。揮毫に際して、頭山翁は、この「國技・押シ」の銅像が撤去されたのは昭和十八年の四月だった。銅像の再建は靖國神社國技像再建委員会によって進められた。初代像「國技・押シ」の原型は戦災でなくなっていたが、幸いなことに一連の作品である「國技・四ツ」の原型が、夫人宅に残っていた。夫人は原型の提供と銅像製作への協力を申し出られ、再建が実現した。昭和五十二年四月十日、再建委員会、神社関係者、来賓ら約五百人が参列して竣工祭が行われた。当時の至りに存じます。...

縁深い靖國神社と相撲

靖國神社と相撲、特に大相撲とは縁が深い。まず、神社創立の明治二

年に余興として七月一日から三日間大相撲が奉納された。以来、今日まで毎年、恒例行事として春の大祭や臨時大祭に合わせて奉納されている。今年も四月六日に奉納された。横綱はじめ全力士総勢二百人が参加し、六千人の観客に無料開放された。力士の取組のほか初っ切



玄洋社の故郷・福岡
の話題をお伝えします

参加者3万3000人
見物の人出210万人

盛況だった「博多どんたく」



例年「ゴールデンウィーク中の人出・日本一」を誇る福岡市の市民の祭り「博多どんたく」が、今年も五月の三、四両日開催され、街を祭り一色に塗りつぶした。

「どんたく」は治承三年（一一七九年）に領主への年賀の行事として始まったとされる。市内各所に演舞

舞台三十四カ所が設けられ、昨年に続いて、東日本大震災復興支援の気持ちを込めて「がんばろう！日本、祭りであつなごう元氣と絆」をテーマに開催された。主催者の福岡市民の祭り振興会によると参加者は、国内の観光地や外国からの参加を含め、二日間で延べ約六百八十団体の三万三千人だった。震災被災地、宮城県仙台市からも「たなばたまつりどんたく隊」が参加した。

一方、見物の人出は、二日間延べ二百十万人だった。昨年より二十万人少なかったが、同振興会は「初日の小雨が影響した」と語っていた。

二日目の、祭り終了前には五カ所の演舞台で参加者、見物客が一体になって「総おどり」が行われた。

博多の民謡や古謡を踊り、踊りの輪から「頑張ろう、日本」の唱和の音が湧き起こった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

「写真は「どんたく広場」をパレードするどんたく隊」

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多川「船乗り込み」華やかに



人間国宝の中村吉右衛門さん、片岡仁左衛門さんから人気役者二十人が十艘の棹さし船に分乗して、上流の清流公園から博多座そばの商業施設「博多リブレイン」横まで、博多川約八百メートルゆつたりと下り、来場を呼びかけた。

途中では「船乗り込み」主催者への「口上」などもあり、川岸は、華やかな雰囲気にとけこんで、約二万八千人（主催者発表）の歌舞伎ファンや市民で埋まった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多祇園山笠 祭り一色の15日間



日本三大祇園祭の一つに数えられる福岡市の「博多祇園山笠」が七月の一日から十五日まで開催された。

博多っ子の血が騒ぐ七百七十余年の伝統を誇る国指定重要無形民俗文化財の行事で、鎌倉時代に行われた

博多っ子の血が騒ぐ七百七十余年の伝統を誇る国指定重要無形民俗文化財の行事で、鎌倉時代に行われた

博多っ子の血が騒ぐ七百七十余年の伝統を誇る国指定重要無形民俗文化財の行事で、鎌倉時代に行われた

博多っ子の血が騒ぐ七百七十余年の伝統を誇る国指定重要無形民俗文化財の行事で、鎌倉時代に行われた

博多っ子の血が騒ぐ七百七十余年の伝統を誇る国指定重要無形民俗文化財の行事で、鎌倉時代に行われた

博多っ子の血が騒ぐ七百七十余年の伝統を誇る国指定重要無形民俗文化財の行事で、鎌倉時代に行われた

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

博多のめでたい席で歌われる「祝いめでた」を合唱、手締めの「手一本」を入れて祭りを締めくくった。

玄洋社関係史料の紹介

石瀧 豊美

第 55 回

宇田川文海『西南拾遺』(二二五)

(早稲田大学図書館所蔵)

明治十二年九月刊行

小室信介

宇田川文海編輯

『西南拾遺』巻之五

前号では森震志は福岡の変で捕縛され、懲役七年、岐阜県大垣で服役したことになっていた。実際には堺県預けとなっていたので、作者は意図的に服役の場所をずらしたのである。伊勢路から道を逸らせるための工夫かもしれない。

小梅、再び妓籍に入る

(続き)

行衛知る、上は片時も早う尋ねゆかんとはやる心を面へも出さず、帳簿を畳みて渡辺に返しつ、客人よ能くこそ知らし玉ふたれ。いざこの札に盃一ツ参らせんなど打戯れつ、其日は去

り気なう席を終りて、偕其翌日より震志の方に尋ねゆかんと種々に心を挫きつ。漸くにして其年の秋の末、馴染める客を誘かして、時ならぬ伊勢詣をさせつ、己もこれに従ひゆきけり。斯くて伊勢路より戻り路にて客に請ひて美濃路に至り、大垣の町にて人を頼みて震志の身の上を問合せ

しに、震志は此年の六月中旬旬役中時の疫にかされて空しく此世を去りしよし、知れければ、小梅はひとと呆れはて、余りの悲さに涙さへも出やらず、只伏し転びて打泣きぬ。嗚呼世の中は夢かうつ、か、うつ、ともゆめともわかずありてなければと、人のいひしもおもひ出でられ

て茫然として立つ居たり。武夫の身の軍に臨みては、兼てより亡き物と思ひあきらめし者の、此有様を見れば不覚の涙せき敢へず。身を転して卒塔婆にひ

まだ西南戦争が進行中だったことから、福岡の変の受け手は九州外へ送られ、堺(六二人)の他に大坂府(五〇人)、静岡県(七三人)、神奈川県(四九人)、兵庫(三六人)、和歌山(八〇人)、山口(三七人)へと分散された。前号掲載文ではやむをえず文章の途中で断ち切ったので、今回は前号と少しダブらせながら始める。

誰一人詣づる者もなきにや。水一つ手向る器さへもなく、櫛一葉挿さん竹筒さへあらず。只野干などの群れ遊べるにや、獣の糞の其処此処に落ち散りて足踏入る、さへたやすからず。余りの事に益々胸つぶれて茫然として立つ居たり。武夫の身の軍に臨みては、兼てより亡き物と思ひあきらめし者の、此有様を見れば不覚の涙せき敢へず。身を転して卒塔婆にひ

いのちだに心にかなふものならば、なにかわかれのかなしかるべきと、むかし人のよみしも理りや。小梅も震志にわかれしよりは、兎も此世に存ふべくもあらねども、只男のいのちのもしやあらばと、はかなくもおもひかへして、斯く憂身をやつせるもの、尋ね来し男の此世にあらぬと聞ては、いかばかりか力の落ちけむ。泣く泣くも宿りに帰りが、浴もなさず、夕食も喰

小梅円寂、松江仏門に入る

しと抱きつきけり。理なる哉。一樹の陰に宿り一河の流を汲む程も知らず。知らぬ人にだに別となれば名残を惜む習なるに、況て連理の契浅からずして、五年余に成たるに、夢より外は又も相見ぬ此世の外の別となりては、いかばかりか悲しかるべきや。やうやくして案内の者を力草に身を起しつ、秋草の花摘みて、卒塔婆の前に立並べ、小河の流に水掬びて土に濯ぎて一時余りも回向なしつ、泣く泣く宿りに帰りけり。

其翌る朝、大垣を立出で西京さして帰り来りしが、最早浮世に望なき身なればとて、兼て蓄えし衣類調度も売代なし、馴染の客人にも些ばかりの助を乞ひて、身の負債を残りなう済せつ。

十月の中頃に身揚げなしは変りはて、閻伽の水桶にうつる姿を見ては、いかに浅猿くやありつらん。河竹の流の身ほど世に罪業の深かきはあらじ。されど一度仏門に入りては、いかで消滅あらざるべき。十悪と雖ども猶引接す。疾風の雲霧を披くより甚し。一念と雖も必ず感応す。之を五海の消露を納る、に喩ふといへり。況て一旦仏の御弟子となり玉ふ上は、汝はいふも更なり。亡夫の冥福もうたがひあるべからずと、庵主の尼の教を聞きて、いと世の中のおぢきなさをいとひつ、堅固に出家の道を守りて、朝な夕な仏の御前に合掌しつ。



小梅は客をそそのかしてお伊勢参りに連れ出し、帰途、大垣に至った=写真は伊勢神宮

お礼 前号で頭山満翁葬儀の模様、その他、関係資料の提供をお願いしたところ、種々ご教示をたまわり篤くお礼申し上げます。引き続き、頭山翁関係の資料、書簡、揮毫など、情報を集めていきますので、よろしくお願ひ申し上げます。なお、本連載は次号で完結しますので、集まった資料なども、紙面をお借りし、折々紹介させていただきます所存です。